

字幕放送の普及による情報のバリアフリー化と障害者に対する新たな職域の提供による地域社会への貢献を目的として、福岡県の民間放送局5社（RKB毎日放送・九州朝日放送・テレビ西日本・福岡放送・TVQ九州放送）と九州電力等が共同で平成16年7月に「株式会社九州字幕放送共同制作センター」を設立。

■設立経緯

<課題>

- ① ローカル局は自主制作番組が少ないため、字幕の社内制作は人・物・金ともに非効率。また、社内に字幕制作に係るノウハウもなく、人材もいない。
- ② 外注しようにも地方には外注先がない。



系列を越えたエリアの共同制作化で効率化

■顧客数

累計：民間放送局38社

（北陸1県〔1社〕、中国全5県・四国3県〔14社〕、九州全8県〔23社〕）

■制作数

レギュラー番組28本・単発番組46本、
年間304.8放送時間（すべて録画番組への字幕付与）
【平成22年度実績】

■従業員

計9名
（うち制作担当の7名はすべて障害者〔重度3名・軽度3名・精神1名〕）
【平成24年3月1日現在】

■事業エリア拡大経緯

平成17年 福岡
平成18年 全九州
平成19年 全九州＋中国・四国＋北陸

■自主制作による年間字幕放送時間の比較 （福岡県民間放送局5社）

	平成16年度 （サービス開始前）	平成22年度	増加分数
RKB毎日放送	365分	2,400分	＋2,035分
九州朝日放送	55分	6,210分	＋6,155分
テレビ西日本	0分	6,922分	＋6,922分
福岡放送	306分	2,683分	＋2,377分
TVQ九州放送	0分	941分	＋ 941分
全国の系列ローカル局※平均	756分	1,610分	＋ 854分

※ 在阪準キー4局及び在名広域4局を除く101社